



草津市 地域ケア会議の取り組み(H24・25年度)

「学区の医療福祉を考える会議」

- ・目的: 地域の高齢者を支える活動をしている関係者や、地域の医療・介護・福祉サービスに携わる関係者が一堂に会し、地域の高齢者の現状を把握し、解決方法について話し合う。
- ・メンバー: 民生児童委員 老人クラブ 自治会の人 学区社会福祉協議会の人 医師(医師会、地域の開業医) 介護の事業者(ケアマネジャー、訪問看護) 地域密着型介護サービス 市社会福祉協議会
- ・実施回数(H24年度): 笠縫東学区(3回) 老上学区(1回)
- ・配布資料: 学区の医療福祉を考える会議(イメージ図)
学区の医療・福祉・介護マップ
- ・情報交換のテーマ: 「私たちの周りで気になる高齢者のこと」「事例を通じてお互いの動きを知る」

・参加者の声

学区内に介護保険関係の施設がこんなにあることを初めて知った。(学区社協)

この会議に参加して、地域の医療福祉の多職種の人たちと顔の見える関係を作ることが大切だと感じた。(介護支援専門員)

地域によっては、認知症の高齢者が行方不明になったときに地域の人たちで探す仕組みがある。(医師)

高齢者が困ったときにどこに相談すればいいのかまだまだ知られていない。高齢者を支援するシステムの啓発がもっと必要ではないか。(医師)

- ・H25年度の計画: 「地域での支えあいがどうなっているのかを話し合う」
開催学区を広げる

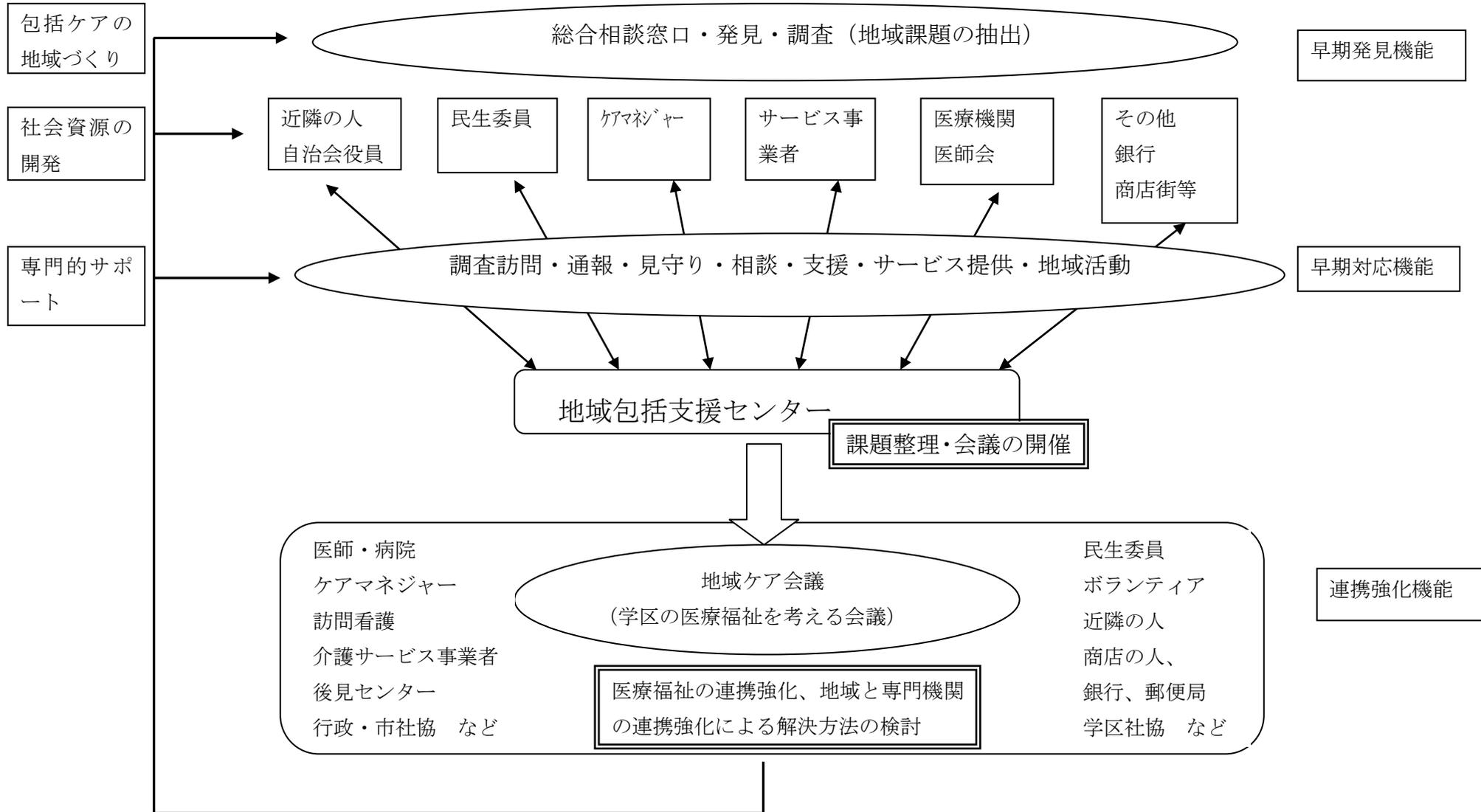
「中央地域ケア会議」 H25年度実施予定

- ・目的: 個別ケースの課題解決と共に、関係者と地域課題を共有できる。
- ・内容: 退院時の事例、介護予防プランの事例の検討
- ・メンバー: 介護支援専門員、訪問看護、リハビリ職、介護サービス事業所など





草津市 地域包括ケア体制の構築と地域ケア会議の開催





<地域包括ケアの推進のための『〇〇学区の医療福祉を考える会議』イメージ図>

高齢者を支える地域の関係者と、医療や福祉の関係者が一堂に会し、地域の高齢者の安心して暮らすための課題や解決方法を話し合う。

メンバー(仮)：民生委員、老人クラブ、学区社協、医師、介護事業所、ケアマネジャー、市の社協、地域包括支援センターなど
年4回くらい、

